

西本直文 作陶展

十二単衣釉彩「至高の光」

会期／平成二十四年二月八日(水)～十四日(火)
会場／日本橋三越本店本館六階美術サロン

(最終日は午後四時閉場)



9. 十二単衣釉彩珈琲碗「耀」

ごあいさつ

この度は「光」をテーマに、宮島の厳島神社や神秘的なる月の満ち欠けを十二単衣釉彩、金彩、銀彩を駆使し表現しました。生活の中にそっと入り込む小さな美の世界、生活の中に使える用の美の器たちを是非ともご来廊のうえ、お楽しみください。

西本直文

陶 歴

- 1965年 広島市に生まれる
- 1988年 日展 初出品 初入選 以後連続
- 1995年 国際美術大賞展 '95年イタリア出品
フィレンツェ・モンテルポ国際親善賞受賞
- 2000年 ヘルシンキ2000「茶の湯—現代造形展」選抜出品(フィンランド)
日本現代工芸美術展 現代工芸本会員賞受賞(東京都美術館)
- 2001年 広島県民文化奨励賞受賞
- 2006年 田部美術館大賞「茶の湯の造形展」優秀賞受賞
同美術館所蔵(島根)
日本橋三越本店にて個展「十二単衣釉彩の世界」
第45回日本現代工芸美術展 審査員(同'11年歴任)
紺綬褒章受章
- 2009年 第3回「菊池ビエンナーレ」入選(菊池寛実記念 智美術館 同'11年)
日本橋三越本店にて個展「釉彩と銀彩への誘い」
- 2012年 現代の造形—Life & Art—「ふれる器 Feel Ceramics」展
(東広島市立美術館)
日本橋三越本店にて個展 十二単衣釉彩「至高の光」
- 現 在 日展会友 日本現代工芸美術家協会本会員



MITSUKOSHI
日本橋本店